

Road to 2020  
and  
beyond

# 第2部



## チーム伊豆市の軌跡

東京2020大会自転車競技(トラック・レース/マウンテンバイク)開催に向け、  
さまざまな困難も乗り越えて、伊豆市は市民とともに準備を重ねてきた。  
大会の成功とさらなる伊豆市の発展を願い、一人ひとりが力を尽くした。

- 45 デイ・カウンターリレー
- 54 カウントダウンイベント
- 62 市民との取り組み
  - 63 Pick Up!! 写真撮影会 in 伊豆ペロドーム
  - 64 Pick Up!! 東京五輪音頭-2020-
- 70 次の世代へ
  - 78 Pick Up!! オリパラ教育推進校 伊豆総合高等学校
  - 82 Pick Up!! 大会会場花装飾
- 86 ボランティア
  - 90 Pick Up!! 大会当日のおもてなし
- 92 伊豆市役所の取り組み
- 108 修善寺駅周辺
- 112 広報実績
- 121 スポンサー関連

### 『デイ・カウンター』リレー Day Counter Relay

東京2020大会自転車競技伊豆開催までの日数を書いてもらい、総勢4,733人2,731組が笑顔と共に繋いだ『デイ・カウンター』。開催まで毎日、修善寺駅設置の『デイ・カウンター』ボードやInstagramなどで公開した。



### Day Counter Relay

スタート! →

あと1688日  
伊豆オリンピック開催を祝う会 2015.12.10  
東京2020大会自転車競技伊豆開催が決定し、修善寺総合会館で記念セレモニーが開催される。

あと1500日  
『デイ・カウンター』ボード除幕式 2016.6.15  
修善寺駅に『デイ・カウンター』ボードが設置された。除幕式に先立ち、日本自転車競技連盟橋本聖子会長(当時)が講演。

あと1300日  
『デイ・カウンター』リレー開始 2017.1.1  
市内外の人に東京2020大会自転車競技伊豆開催までの日数を書いてもらい、笑顔と共に繋ぐ『デイ・カウンター』リレーがスタート。



あと  
1090日

**ふじのくに  
サイクルチャレンジ  
in伊豆** 2017.7.30

大会開催3年前を記念して、伊豆ペロドロームの歩行・走行体験、パラサイクリング体験などのイベントが実施された。

あと  
1061日～1359日

**市内小中学校に  
フラッグ巡回** 2017.8.28～30

伊豆市内の全小中学校を、オリンピック・パラリンピックフラッグが巡回。児童・生徒の一生に一度の思い出を残すと共に、東京2020大会への参画を図った。



あと  
995日

**異文化理解出前講座**  
2017.11.2～

こども園・保育園、小学校・中学校などで、国際交流員を講師に、英語と日本語で異文化を学ぶ講座が始まった。

あと  
935日

**エンブレム入り婚姻届、  
出生届配布開始** 2018.1.1

開催地としての特別感を出すため、全国で初めて東京2020大会エンブレム入り婚姻届と出生届の配布を開始した。



あと  
764日

**伊豆市ユニバーサル  
ツーリズム研修会**

2018.6.21

東京2020大会自転車競技開催地として、年齢や障がいの有無に関わらず旅行を楽しむことができるポイントを学ぶ研修会を実施。

あと  
733日

**東京2020大会  
2年前イベント** 2018.7.22

東京2020大会自転車競技静岡県開催を全国に発信する特命式、PRキャラバン隊の出陣式などが伊豆ペロドロームで開催された。キャラバン隊には、チームブリヂストンサイクリングの選手や民間企業の有志など約20名が参加。



あと  
654日

**『東京五輪音頭-2020-』  
練習会**

2018.10.9

市職員が講師となり、『東京五輪音頭-2020-』の練習会がスタート。この後も、様々な機会でも市民が音頭を練習。

あと  
581日

**マスコット  
プレゼントセレモニー**

2018.12.21

市内の全こども園、保育園、小中義務教育学校に東京2020オリンピック・パラリンピックマスコットを配布。セレモニーには、等身大のマスコット『ミライトワ』『ソメイティ』も参加。



あと  
511日  
大会PR映像と  
ガイドブックが完成  
2019.3.1  
東京2020大会自転車競  
技伊豆開催のPR映像と  
ガイドブックが完成。伊豆  
市を国内外に発信した。

あと  
500日  
500日前イベントを  
開催  
2019.3.12  
オリンピック開催500日前を記  
念して、修善寺南小学校の児童  
にオリンピックがオリンピックの  
経験談と努力の大切さを語った。  
また、プロ選手が漕ぐ自転車の速  
度にチャレンジする体験も実施。



あと  
341日、338日  
大会1年前  
記念花火の打ち上げ  
2019.8.18、21  
土肥サマーフェスティバルと修禪  
寺弘法大師奉納花火大会で青・  
黒(濃紫)・赤・黄・緑の5色を基  
本にした花火を打ち上げた。

あと  
237日、236日  
大会ボランティア共通研修  
2019.11.30、12.1  
生きいきプラザにて大会ボ  
ランティア(フィールドキャ  
スト)共通研修が行なわれ  
た。心構え、大会概要など  
を学んでいた。



あと  
125日

**大会の延期決定 2020.3.24**

新型コロナウイルス感染症感染拡大により、大会の延期が決定された。3月25日には『デイ・カウンターリレー』を中止。3月30日に新たな開催日程が決定され、再スタートとなった。

あと  
122日

**おもてなし大作戦 in修善寺駅 2021.3.20**

市民や企業の方など約100人が参加し、観戦客の輸送拠点駅である修善寺駅周辺のゴミ拾いや、駅周辺の手摺りやベンチの拭き掃除などを実施。1時間のゴミ拾いで、約50kgのゴミが集まった。



あと  
91日

**市内各所の装飾を開始 2021.4.23**

横断幕やのぼり旗などによる市内各所の装飾を開始。認定こども園あゆのさとの園児も手伝った。

あと  
28日

**オリンピック聖火リレー 2021.6.25**

修善寺小学校前から修善寺総合会館までの約1.8kmを9人の聖火ランナーが駆け抜けた。沿道では、『新しい時代の日の出となり、人々に希望の道を照らし出す』聖火リレーを、伊豆市内全小中義務教育学校の児童・生徒が観覧した。

開催!  
0日

カウントダウン  
イベント

カウントダウン イベント  
開催  
1500日  
前

『デイ・カウンター』ボード除幕式 &  
橋本聖子さん講演会

2016年6月15日(水)  
修善寺駅・伊豆市民文化ホール

1500日前イベントとして、伊豆箱根鉄道修善寺駅で、大会開催当日までのカウントダウンを行なう『デイ・カウンター』ボードの除幕式を行なった。デイ・カウンターボードは、静岡県立伊豆総合高等学校建築工学科の有志が制作。伊豆半島産のヒノキ材を使用し、伊豆ペドロームの木製走路をイメージしてデザインした。公益財団法人日本自転車競技連盟の橋本聖子会長、静岡県土屋優行副知事、菊地豊伊豆市長などの除幕により、ボードが披露されると、会場からは大きな拍手が沸き起こった。



同日、伊豆市民文化ホールにて、橋本聖子さんによる『オリンピック・パラリンピックがもたらすもの—スポーツを通じた人材育成と健康街づくり—』と題した講演会を実施。大会開催に向けて市民が決意を新たにす場となった(市内外から約300人参加)。

東京2020大会自転車競技伊豆会場決定の歩み

- 2013年 9/7 アルゼンチンのブエノスアイレスで行なわれたIOC総会にて、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催が決定。
- 2015年 12/9 スイスのローザンヌで行なわれたIOC理事会にて、伊豆ペドローム／伊豆マウンテンバイクコースでの東京2020オリンピック競技大会自転車競技(トラック・レース／マウンテンバイク)開催が決定。
- 12/10 美しい伊豆創造センター主催『伊豆オリンピック開催を祝う会』開催。
- 2016年 4/16 ドイツのボンで行なわれたIPC理事会にて、伊豆ペドロームでの東京2020パラリンピック競技大会自転車競技(トラック・レース)開催が決定。



カウントダウン イベント  
開催  
4年前

伊豆から自転車競技を盛り上げよう!  
自転車競技体験イベント & 壮行会

2016年7月31日(日)  
日本サイクルスポーツセンター・  
伊豆ペドローム

東京2020大会開催の4年前に当たる2016年7月31日(日)、『伊豆から自転車競技を盛り上げよう!自転車競技体験イベント~東京2020大会自転車競技(トラック・レース／マウンテンバイク)開幕4年前~』を、日本サイクルスポーツセンターで開催した(約150人が参加)。イベントでは、当時の世界最高タイム(男子9秒347、女子10秒384)に挑戦する200mタイムトライアル、パラサイクリングに使用する自転車(ハンドバイク・三輪自転車)の試乗体験などを実施した。



同日、伊豆ペドロームで、リオデジャネイロ2016パラリンピック競技大会での活躍を祈念し、自転車競技日本代表選手5名の壮行セレモニーを開催し約100人が直接エールを送った。



カウントダウンイベント  
開催  
3年前

## ふじのくにサイクルチャレンジ in 伊豆



2017年7月30日(日)  
伊豆ベロドローム

東京2020大会開催まで、あと3年となった2017年7月30日(日)に、伊豆ベロドロームで記念イベント『～みんなのTokyo2020 3 Years to Go!～ふじのくにサイクルチャレンジ in 伊豆』が開催された(静岡県主催、約800人が参加)。フラッグツアールイベントでは、バルセロナ1992大会金メダリストの岩崎恭子いわさききょうこさんから、オリンピック旗が川勝平太かわかつへいた静岡県知事と修善寺中学校生徒会長井村安里いむらあんりさんに、パラリンピック旗が菊地豊伊豆市長と修善寺南小学校児童会長梅原和香うめはらほのかさんに手渡された。フラッグ歓迎イベントとして、伊豆ベロドロームの歩行・走行体験、パラサイクリング体験、トップ選手によるデモンストレーション走行などが行なわれた。



カウントダウンイベント  
開催  
2年前

## 東京2020オリンピック・パラリンピック 2年前イベント



2018年7月22日(日)  
伊豆ベロドローム

東京2020大会開催まで2年と迫った2018年7月22日(日)、伊豆ベロドロームで、2年前記念イベントが開催された(静岡県主催、約800人が参加)。ふじのくに観光大使の研ナオコけんさん(伊豆市出身)に東京2020大会自転車競技静岡県開催を全国に発信する特命式、静岡県東部20市町を巡るPRキャラバン隊(約20人)の出陣式などが開催された。伊豆ベロドロームでは、デモンストレーション走行、ランニングバイク試乗体験、自転車競技トップ選手写真撮影&サイン会などが行なわれ、東京2020大会パートナー企業などによる体験型ブースが設置された。



カウントダウンイベント  
開催  
500日前

## オリンピックのトークショー & プロ選手のすごさを体験!

2019年3月12日(火)  
修善寺南小学校

東京2020大会開催500日前を記念して、2019年3月12日(火)、修善寺南小学校で、『オリンピックのトークショー & プロ選手のすごさを体験!～東京2020 開催まであと500日!～』を開催した(約300人が参加)。シドニー・アテナ・北京のオリンピックに連続出場した飯島誠いらいままことさんによる講演の他、トップ選手による自転車の最高速度の計測を実施。また、会場の全員で『500』の人文字をつくり、開催500日前の機運を醸成した。また、2019年4月9日(火)には、伊豆ベロドロームに500日前を記念した『パラリンピック500Daysバス』が訪れた。





## 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

### 1年前を記念した花火

2019年8月18日(日)  
土肥・松原公園特設会場

2019年8月21日(水)  
修善寺温泉街



東京2020大会開催1年前を記念し、2019年8月18日(日)に土肥サマーフェスティバル(土肥・松原公園特設会場)、2019年8月21日(水)に修善寺弘法大師奉納花火大会(修善寺温泉街)で、『東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会1年前を記念した花火』を打ち上げた。花火は、青・黒(濃紫)・赤・黄・緑の5色を基本としたもので、伊豆市が東京2020大会自転車競技の開催地であることを、市民・観光客に広く発信した。

#### 土肥サマーフェスティバル

日時:2019年8月18日(日) 20時48分頃  
ところ:土肥・松原公園特設会場(伊豆市土肥2656-1)  
イベント全体の主催:伊豆市観光協会土肥支部  
来場者数:16,000人



#### 修善寺弘法大師奉納花火大会

日時:2019年8月21日(水) 20時55分頃 ところ:修善寺温泉街(伊豆市修善寺964周辺)  
イベント全体の主催:伊豆市観光協会修善寺支部 来場者数:10,000人



## 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた200日前イベント in 静岡

2020年2月11日(火・祝)  
キラメッセぬまづ

開催200日前記念イベントとして、『東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた200日前イベントin静岡県』が、キラメッセぬまづ多目的ホールで開催された(主催 静岡県)。

県内出身のオリンピック・パラリンピックのメダリストである飯塚翔太選手(陸上)、すぎらひでたか 翔太選手(陸上)、杉村英孝選手(ボッチャ)、いなみひろし 名波浩さん(サッカー元日本代表選手)のトークショー、ボッチャ大会、フェンシングフェスティバル、ミライトワ・ソメイティとの記念撮影などが行なわれた。また同月、伊豆ペドロローム外壁に、オリンピック・シンボルとパラリンピック・シンボル(スリーアギトス)が設置され、大会機運を醸成した。



## 東京2020大会の延期決定

2020年3月24日(火)、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、東京2020大会の延期が決定。3月30日(月)に大会の新日程が決定した。4月16日(木)のエグゼクティブプロジェクトレビューで大会延期に伴う大会準備の枠組が合意され、6月10日(水)に、2021年の大会の位置づけ、ロードマップがまとめられた。これにより、大会に開催に向けてのカウントダウンは仕切り直しとなった。

ロードマップ



CoCom:調整委員会 PR:プロジェクトレビュー  
出典:東京2020組織委員会公式ウェブサイト





200日前イベント  
の中止

2021年1月17日(日)にオリンピック3大会に出場した飯島誠さんの講演会を、2月14日(日)にパラリンピック200日前イベントを実施予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されたため、中止とした。



100日前イベント  
の中止

2021年4月17日(土)、自転車乗り方教室などを修善寺虹の郷駐車で実施を予定していたが、雨天のため中止とした。



50日前イベント  
みんなの想いをリレーでつなぐ50days  
to TOKYO2020 ピクニック RUN&WALK

2021年5月30日(日) 参加者数75組180人  
日本競輪選手養成所

大会50日前を記念し、2021年5月30日(日)に『みんなの想いをリレーでつなぐ50days to TOKYO2020 ピクニック RUN&WALK』を日本競輪選手養成所にて開催した。参加者は自転車や徒歩で400mトラックを周り、菊地豊伊豆市長が最終走者となって東京2020大会にちなんだ20.20kmをタスキリレーでつないだ。オリンピック3大会に出場した飯島誠さんらによる走行パフォーマンスのほか、ランニングバイク体験、養成所候補生が行なう訓練の体験など、十分な感染症対策のもと様々なプログラムを実施。日本代表選手からリレー参加者へのビデオメッセージも届き、本番に向け機運を盛り上げた。



イベント内容

- トラック走行20.20kmタスキリレー(参加人数:75組180名)
- オリンピアン飯島誠さんによるトークと慣熟走行パフォーマンス
- 自転車競技日本代表選手への応援メッセージ動画撮影
- 参加者全員で記念撮影
- トラック傾斜体験(トラックを歩いて実際の斜度を体験)
- オリンピック・パラリンピッククイズ大会(スポンサーからの景品)

その他

- 代表選手への応援メッセージ(日の丸の旗に記入)
- ランニングバイク体験(キッズコーナー)
- 競輪選手養成所候補生の訓練体験(3本ローラー)
- 自転車競技・日本代表選手紹介パネル展示
- 日本代表選手からリレー参加者へ応援ビデオメッセージ
- 飲食コーナー



Message 参加者の声



参加者  
うめはら  
梅原さんファミリー

普段入れない養成所のコースを走れる貴重な機会ですから、記念に家族5人で参加しました。子どもたちが自転車で遊ぶのはいつも家の敷地ばかりなので、広いコースを皆と一緒に走れ、「風が気持ち良かった!」と、大喜びでした。



参加者  
伊豆ノルディック  
ウォーキングクラブの皆さん

私たちクラブは毎週土曜日に、狩野川沿いなど色々な場所でウォーキングを楽しんでいます。トラックは実際歩いてみると、思ったよりずっと傾斜が急で、驚きました。ここを走る選手たちの筋力ち良かった!と、改めて知りましたね。

担当者の声



プリチストンサイクル株式会社・  
自転車競技オリンピック  
いいじま まこと  
飯島 誠さん

今回のイベントは市民の皆さんが自転車競技に触れ合い、より興味を持ってもらえる素晴らしい機会になったと感じています。やはり競技を直に見るのは、想像を超える迫力と感動があります。ぜひ、大会本番も楽しんでください。



一般財団法人  
サイクルスポーツセンター(略:CSC)  
のだ なおひろ  
野田 尚宏さん

CSCは伊豆ペドロローム、伊豆マウンテンバイクコースを備える、世界に誇る自転車の複合施設です。今大会を機に自転車競技を広め、レジャーやスポーツなど自転車の幅広い魅力を伝えるレガシーとしていきたいです。